

砺波市のクマ対策について

1 経緯

本市では、R6年春の若林地区でのクマ出没を契機に、AIを活用したクマ出没通信システムを他市に先駆けて導入（R7増設）するほか、放任果樹伐採補助の対象地域を中山間地域から市全地区への拡充、狩猟免許取得補助、出動報酬の見直しなど、「総合的なクマ対策」を講じてきたところである。

加えて去る11月10日の本市では初めての緊急銃猟を受け、本市においても報奨金制度を新たに設けることを内部決定していたところであり、今回12月補正予算に50万円（5万円／頭×10頭）を計上し、本年4月から遡及適用（緊急銃猟以外も含む）することで、鳥獣被害対策実施隊の活動の支援拡充を図るもの。（県補助1／2）※本年度実績（緊急銃猟1件含む）5件

2 総合的なクマ対策

年 度	短期的に取り組むこと	備 考
令和6年度 8月補正予算	○AIカメラ新規導入 約200万円 12台設置	
令和7年度 当初予算	○報酬費の改定 約100万円 R6まで 3,700円／回 R7から 3,700円／2時間 2時間超 2,000円／時を加算 ○軽食の提供 2.3万円 ○AIカメラ増設導入 約300万円 12台設置※計24台で監視を継続 ○放任果樹伐採補助 50万円 5,000円／本 ○狩猟免許取得補助 約30万円 わな2万円／人 銃猟5万円／人 ○クマ対策緊急3箇年森林整備事業 約300万円	※実際の出動を反映 ※12台増設
令和7年度 12月補正予算	○クマ捕獲報奨金 50万円 50,000円／頭	※4月に遡及し、緊急銃猟以外にも適用

【参考】報酬費改定に伴う増額例

①R6若林地区の場合 [出動時間] 午前6時～午後5時までの11時間

<改定前> R6支給額 → 3,700円

<改定後> R7支給額 → 21,700円 (18,000円増額)

②今回の緊急銃猟の場合 [出動時間] 午前6時30分～午前9時30分までの3時間

<改定前> R6支給額 → 3,700円

<改定後> R7支給額 → 5,700円 (2,000円増額)

3 令和7年度 出没・痕跡、A I カメラ検知件数情報

R7.11.24 現在

(単位：頭、倍)

	クマ			クマ以外
		目撃・痕跡	A I カメラ	
①R 6	7	3	4	7
②R 7	52	23	29	18
③=②-①比較増減	45	20	25	11
④=②/①増加割合	7.4	7.7	7.3	2.6

4 クマ捕獲状況

回数	月日	場所	頭数	捕獲方法
1	7月27日	柄上	1	わな捕獲
2	10月13日	庄川町三谷	1	わな捕獲
3	11月5日	東別所	1	わな捕獲
4	11月10日	庄川町古上野	1	銃器捕獲（緊急銃獵）
5	11月18日	庄川町三谷	1	わな捕獲

5 県内自治体出役報酬費・報奨金一覧 別紙のとおり

※自治体間においてバラツキがあることから、補助制度内容及び待遇の統一を望む

6 今後の国のクマ被害対策パッケージによる支援拡充

- (1) 侵入防止柵（電気柵）の新規設置
- (2) 捕獲わなの増設など

7 参考（緊急銃獵の実施状況）

R7.11.20 現在

(1) 全国 32件（うち北陸3県 7件（富山県4、石川県1、福井県2））

(2) 県内

①実施（駆除に至ったもの）

回数	月日	市町村名	内訳
1	10月23日	富山市（1回目）	成獣 1頭
2	11月5日	富山市（2回目）	成獣 1頭
3	11月10日	砺波市	成獣 1頭
4	11月15日	滑川市	幼獣 1頭

②未実施（駆除に至らなかったもの）

回数	月日	市町村名
1	10月16日	富山市（1回目）
2	11月2日	富山市（2回目）
3	11月7日	立山町
4	11月19日	上市町